

カナダの 林産業は今

2010年11月

国際生物多様性年

寒帯における
造林の試み

林産業変革
プログラム
を新設



ご存知でしたか

カナダの森林には絶滅の恐れのある種を含め、推定14万種もの動植物や微生物が生息しています。危機に瀕する森林生息種の個体群の保持は、カナダにおける森林管理計画の重要な目的のひとつです。

2002年、カナダは独立機関であるカナダ絶滅危惧野生生物現状調査委員会(Committee on the Status of Endangered Wildlife in Canada) のまとめた全国リストに基づき、絶滅危惧種法 (Species at Risk Act) を制定しました。同法の下で行われる保全活動は個体群の規模や繁殖状況のモニターをはじめ、餌地や天敵からの避難場所、繁殖の場などの提供まで、多岐に及びます。

カナダの森林 – 豊かな多様性

カナダの森林は多様性に富んでおり、そこでは多くの生命や生態系が環境の変化に反応し、また適応しながら生きています。カナダの林産業はこの生物多様性を維持するため、様々な手法や手段を用いて、生態学的に持続可能であり、同時に地元、さらには社会全体に資するように、森林の管理に当たっています。

生物多様性の維持は森林管理の重要な目的のひとつであり、カナダの国家森林戦略は森林における生物多様性の保全を優先事項とし、各生態系ゾーンについて、森林面積、林相や林齢、所定の森林関連種の個体群規模などの指標でモニターしています。

カナダ林産業は、土地所有者や行政当局、環境保護団体と協力して、森林の持続可能な管理に当たり、社会、経済、環境的価値の均衡を図っています。研究者や森林管理者が、地形や気候条件と生態系がどのように機能しているかを調査し、各地の条件に合った施業を策定します。

カナダ林産業は、保護地の策定に加え、持続可能な森林管理を目指したベストプラクティスの開発も積極的に支援しています。そして恒常的にこうした知見を施業方針や森林管理計画に組み入れています。





ご存知でしたか

カナダの寒帯林とその湖沼地帯は、カナダの鳥類のほぼ半数にとって**重要な営巣と繁殖の場**です。**毎年200種以上**、60億もの渡り鳥が**カナダの寒帯地方**を訪れます。なかにはカナダで雛を育てる渡り鳥もいます。

カナダの林産業は鳥の渡りルートや越冬地を考慮し、様々な条件の生息地を確保しています。例えば伐採後に残された丸太や切り株、大枝や立ち枯れといった**廃材を適当に残し**、湖や小川など水辺に緩衝帯を設けるのもその一例です。また**鳥類研究**、個体数調査、モニタリングも支援しています。

カリブー個体群回復計画

カナダに生息する200万頭のカリブーの大半は北部のツンドラやタイガ地帯で見られます。約18万頭のウッドランドカリブーが小さな群れを作って、寒帯林や山岳林に広く分布しています。

ウッドランドカリブーはオオカミやクマなどの天敵をはじめ、火災や産業開発、パイプラインや送電網、地溝、道路などによる生息地の喪失や分断その他様々な要素により、数多くの危険に晒されています。

カリブー個体群回復計画は、重要な生息地を同定して、土地利用計画や道路敷設、長期的な生息地管理に関する決定を支援するものとして、カナダ全国で策定中です。こうした回復活動の実施には地域社会や先住民、資源産業が積極的に参加しており、森林管理計画は今日および将来において、十分な森林地を生息地として確保するというニーズに対応しています。

カナダの林産企業はカリブー生息地においてカリブーの群を管理し、回復させるための施業実務とガイドラインを導入しています。カナダ寒帯林協定の下で、最先端の、独立した科学に基づいた、カリブーのための行動計画が策定され、これが行政に対して知見を提供していくことになります。

カナダの林産業は今・2010年11月

国際生物多様性年

国際連合は、2010年を地球上のいのちと生物多様性の価値を讃える国際生物多様性年として宣言しました。カナダにとっては、生物多様性の保護に向けた世界的な取り組みに対するカナダの貢献を祝い、また振り返って、さらに前進して行くための機会です。

生物資源と生物学の知見を活用した生物多様性と持続可能性の保全が、持続可能な開発を実現するための基礎です。カナダでは政府をはじめ先住民、経済界、環境保護団体、個々の市民などが一丸となって、生態系はもちろんのこと、経済、社会、文化にまで及ぶ持続可能性を目指して、自然保護や持続可能な開発のための戦略や政策を策定してきました。これは現在も続いています。

カナダ政府は、州および準州の支持を得て、1992年に国際連合の生物多様性条約に署名批准し、直ちにカナダ生物多様性戦略の策定に着手しました。

カナダの多様な林産業

カナダの多様な林産業をより良く知っていただくための「カナダの森林は今」。アジア市場に展開する企業の担当者もご紹介しています。

「サプライヤの森林施業が、持続可能な森林と安全で健康な環境を約束するものであるか。これはすべての市場の関心事であり、アジアも例外ではありません」と語るのは、Louisiana-Pacific Corporation (LP) エンジニアードウッド製品国際営業マネジャーのAI Huber氏。

LP社はアジア進出の可能性の検討にあたり、自社の生物多様性に対する取り組みが有利に働くか気がしました。例えばLP社は1997年以来、カナダの森林で鳥類の観察を続けていますが、これはマニトバの西部から中央にかけての渡り鳥と留鳥種の存在をモニターするもので、同州における鳥種の生息に関する情報源として、貴重なデータベースとなっています。

LP社でマニトバ州スワンリバー地区を担当する生物学者のDonna Kopecky氏は、様々な持続可能な森林管理計画や施業方法による生物多様性の保全を含め、環境にとって正しいことを行うことの大切さをLP社は知っている、と語ります。

「期待されている以上を実行することは、LPにとっては珍しいことではありません」とKopecky氏。「Ducks Unlimited Canadaとの寒帯保全パートナーシップがその好例。当社にとって大切な原木生産地であるダックマウンテン州有林の湖沼その他の水系生息地の持続可能な管理を推進するための戦略と計画手段の開発に中心に取り組んでいます」

寒帯における造林の試み

アルバータ州北部で寒帯林における伐採と植林、自然かく乱の複雑な相互作用を検証する大規模な研究事業が進行しており、カナダの持続可能な森林管理がいかに科学的であるかを実証しています。

EMEND (Ecosystem Management Emulating Natural Disturbance; 自然かく乱に対する生態系管理)と呼ばれる同事業は寒帯混合林1000haにも渡るもので、この種の実験としては世界最大規模。各森林区画は小さくとも10ha以上と、実際の森林施業地なみです。森林が育つには数十年かかりますから、森林区画が一循環する期間、すなわち最高で120年にも渡ろうという長大な事業です。

アルバータ州北部で最も多い自然かく乱は火災です。このため研究チームは様々な残木比率で火入れや伐採を行い、それぞれの造林方法の持続可能性を判断しています。EMENDはひとつの森林循環に渡る、非常に長期間の研究にも、より集中的で短期間の調査にも理想的であり、一つの広大な土地を使って様々な実験を行う、スケールの大きな本事業の可能性に魅かれた科学者が、様々な分野から集っています。

「EMENDはすでに12年間に渡って様々な研究を実施してきた歴史があり、立木不定残存法の生物多様性保全効果を理解するための、信頼に足る取組みとして国際的に認められている」と語るのは大昭和・丸紅インターナショナルのJim Witiw氏。同社はEMENDの開始当時から賛同しています。

FPAC - 森林合法性連合に加盟

カナダ林産品協会(FPAC)は違法な出自の林産品に対する需要を世界的に低減し、違法伐採を打倒するための国際イニシアチブに加盟しました。

これは森林合法性連合(Forest Legality Alliance (www.wri.org/fla))と呼ばれ、世界資源研究所と環境調査機関により今年初めに立ち上げられたもので、各方面の利害関係者が参加しています。世界市場の違法伐採による林産品に対する需要を低減するとともに、林産品サプライチェーンの透明性を高め、合法的な木材や紙製品を届けようとする供給側の努力を支持する活動です。こうした活動により、より良い森林ガバナンスと持続可能な森林管理、そして生物多様性の保全を実現することを目的としています。

カナダは厳しい法規制と効果的な取締り、コンプライアンスの高さに加え、広大な第三者認証林を有しており、合法的かつ持続可能な森林から高品質の木材や紙パルプをお届けしています。カナダにおける違法伐採は実質的に皆無ですが、カナダは他国の森林減少の主要原因である違法伐採に対抗するための知見を同連合に提供し、気候変動や、野生動物生息地と生物多様性の損失の低減に直接貢献することができます。

森林合法性連合は米国国際開発庁(USAID)の援助と民間からの寄付のもと、専門家の知見、市場のダイナミズムやネットワーク、会員の能力を活用して、サプライチェーンに携わる大小の企業団体が、需要側から要求され始めている合法的な林産品の調達方針を理解し対応していくように支援するものです。

林産業変革プログラムを新設

カナダ連邦政府は今年8月、革新的な事業や技術開発による国内林産業の機会拡大を目指し、林産業変革プログラムに1億ドルの資金拠出を打ち出しました。カナダにすでに生産施設を有する林産企業が、より多様な製品を開発し市場を開拓できるよう、支援していこうというものです。

カナダ林産品協会のAvrim Lazar会長兼CEOは、林産業界は常に「カナダ全国の僻村の雇用を確保しながら、価値は最大にして環境負荷は最小という、環境的に持続可能かつ高品質の製品を要求する市場に応えようと模索している」と語り、同プログラムを歓迎しています。

トレーサビリティ - 市場のニーズに応える

ケベック州の製材業者や加工業者を対象に、自社製品のトレーサビリティチェーンを確立するための、各社の事情に即した研修と訓練サービスが提供されています。CoC認証の準備と複数の森林認証取得の支援などを行います。

これは林産品トレーサビリティ・プログラムと呼ばれるもので、ケベック木材製品輸出振興会(QWEB)が運営。460万ドルの資金はカナダとケベック政府が拠出しています。企業が様々な認証規格を把握して、植物検疫基準適合を確認し、顧客のさらなる要求と要件に適合できるよう支援します。

製品認証や合法的な出自の証明という点で、市場の要求がかつてないほどに数多くなっているなか、こうしたプログラムは非常にタイムリーです。「トレーサビリティプログラムへのケベック企業の参加状況を見れば、各社がこの流れは立ち消えるものではないこと、またCoC制度の導入が市場で有利に作用していることが分かります」とQWEBのSylvain Labbé氏は話します。

ケベック州林産業は2009年、同州輸出総額の13%近くを占める80億ドル弱の木製品を、全世界に向けて輸出しました。CoC認証では木製品が認証林からでも、あるいは非認証林からのものであっても、その信頼性を確認します。

BC州

市場開発に投資

BC州は830万ドルを投じ、森林革新投資局(FII)を通じてアジア太平洋主要国における市場開発と、欧米市場の維持を図っていきます。

この資金の約半分はカナダウッドグループの、中国、日本、韓国および欧州における市場開発事業に振り向けられます。一例として、カナダウッドは日本においてBC州林産品の優れた強度と耐震性を実証するほか、韓国では地元業界団体と連携して、木造建築の設計士やビルダーの訓練プログラムを提供します。

FIIはまた、ビジネス・イノベーション・パートナーシップ(BCウッズスペシャリティーズグループ、FPIInnovations-Forintek Division、プリティッシュ・コロンビア大学高度木材処理研究所)に90万ドルを提供すると発表しました。これは事業開発やマーケティング、さらに付加価値木製品企業への技術移転サービスに用いられることとなります。

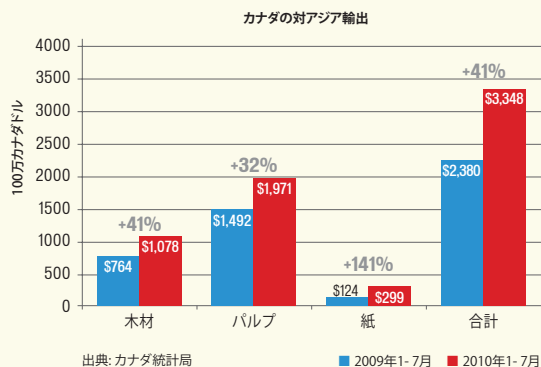
希少生態系を保護

BC州はこのほど、州沿岸部ダグラスファー林における希少生態系の保護地として新たに1598haを指定し、Ancient Forest Allianceからの称賛を受けました。

Ancient Forest Alliance キャンペーンディレクターのKen Wu氏は、「カナダでも最も危惧されている生態系のひとつで、しかもその大半がビクトリアやナナイモ、ダンカンといった都市に所在するだけに、この保護は大きな一歩」と説明します。「保護地内にはダグラスファー原生林が点在し、希少かつ脆弱な生息地が広がっている」

BC州沿岸ダグラスファー生態系は世界的にもBC州でも最優先の保全対象とされており、絶滅が危惧されている植物群落が29も存在します。BC州の同生態系面積25万6800haのうち州有もしくは国有地は9%に過ぎませんが、現在までに全体の40%が伐採その他の資源開発から保護されています。生態系の11%は連邦や州以外の行政所有地、80%が私有地に存在します。

カナダの対アジア輸出



カナダから中国、日本、韓国、台湾への輸出額は2010年1月から7月にかけて、前年同期から大幅に増加。紙製品では141%、木材41%、パルプ32%増となり、全体で41%の伸びを見せました。

短信

州/準州首相が水憲章を承認

カナダの州および準州の首相全員がこのほど、カナダ連邦評議会(Council of the Federation)水憲章を承認し、カナダ市民と政府が一丸となって水資源管理を行う義務を確認しました。連邦評議会は2003年に設立されたもので、政府間協同の推進を目的としています。13首相は承認に当たり、「カナダの湖沼地帯や寒帯林の保護は重要。私たちの寒帯林は5600万ha以上にも上り、世界最大規模の手つかずの原生林である」と述べています。

4階建木造建築を韓国に

カナダウッド韓国事務所とデベロッパのSangaksan Valleyはカナダ資源省の実証事業助成金を得て、韓国初の4階建て木造建築を建設しました。同実証事業は木造建築がいかに韓国の低層商業建築のニーズに適すものかを示すもので、アパートの耐火性や遮音要件に適合するよう、床や壁組の設計を改善しています。カナダウッド韓国事務所はカナダ国立研究機構の支援のもと、韓国の科学者や研究機関と協力し、韓国の騒音減衰規定に適合する設計仕様の開発に当たりました。

BCウッドイベントに700名が参加

年次イベントである第7回BCウッド国際展示会(GBM; Global Buyers' Mission)がBC州ウィスラーで9月9日から11日にかけて開かれ、海外バイヤーやメーカー、建築家、設計士、都市計画担当官、カナダ林産品メーカー代表者など、15カ国から700人が集いました。

「参加者には輸出のチャンスを広げ、新たなネットワークを築いてもらえたものと思います」とBCウッドCEOのBrian Hawrysh氏。「本イベントはカナダ林産品メーカーに新たに2000万ドルの売上をもたらすものと見られます」

中国からのバイヤーは28社、韓国14社、台湾16社、日本33社で、カナダの新たな木製品とサプライヤを求めていました。詳細はBCウッドのウェブサイト www.bcwood.com をご覧ください。

EXPO 2010のカナダ/バンクーバー館

5月から10月まで開催された2010年上海万国博覧会のカナダ館とバンクーバー館には、50万人以上が来場し、現代の木構造の美しさと多様性に触れました。両館ともカナダのシンボリック樹種であるメープルとウエスタンレッドシダーを前面に打ち出していましたが、バンクーバー館は通常の2x6工法と組み合わせ、カナダ産SPFの集成材梁も用いました。その意匠はカナダの林産品によって、環境的にも耐震上も優れた公共建築が、いかに美しいものになり得るかを示していました。また展示では、中国において、環境に優しい優れた街作りのためにカナダの木造建築工法がどう利用されているかが紹介されました。

近刊

BC州の外郭団体である林産業革新投資公社(FII)は様々な分野のパートナーと協力し、環境的に持続可能にして国際競争力のある林産産を支援しています。最近の刊行物の一部をご紹介します。

- ・BC州林産品の対中輸出(Exporting B.C. Wood Products to China)は、カナダの輸出企業と中国の輸入企業に、BC州林産品貿易において認識しておくべき重点や課題を簡単に説明しています。www.coastforest.org/media_pdf/2010-06_wood_exp_guide.pdf をご覧ください。
- ・「世界市場/輸出市場の概況(Market Overview and Export Market Summaries)」などの市場動向分析は、www.bcfii.ca/industry_resources/market_research.htm でご覧いただけます。パスワードはFIIまで(info@bcfii.ca)お問い合わせください。
- ・BC州における第三者認証や革新的な林産品、グリーン設計における木製品の利点などに関する最新情報はNaturally WoodウェブサイトのResourcesセクション(<http://naturallywood.com/Resources.aspx>)にて、ファクトシートをご参照ください。

カナダの林産業は今

「カナダの林産業は今」は、カナダの林産産を幅広く取り上げており、アジア市場で活躍する企業の皆さまからのご意見を募っています。発行は年4回で、建築や紙製品の原材料をカナダから調達しようとお考えのアジアのバイヤーや施工業者の皆さまに森林、施業、製品に関する情報をお届けする情報誌です。ご意見やご要望は Ottawa@fpac.ca までお寄せください。

詳細はカナダウッドのウェブサイト www.canadawood.org、または最寄のカナダウッド事務所までお問い合わせください。

中国 上海事務所: 86-21-5030-1126 北京事務所: 86-10-59251255

日本 東京事務所: 81-3-5401-0531 韓国 ソウル事務所: 82-2-3445-3835/4

表紙/下写真: ©カナダ寒帯林イニシアチブ

カナダ林産業に関する詳細は下記をご覧ください。

カナダ林産品協会(www.fpac.ca)はカナダの木製品や紙パルプ製品の大手生産業者が加盟しており、ウェブサイトでは持続可能な林産品調達方針を策定する上で参考となる「カナダの持続可能な林産品 - お客さまガイド」をはじめ、豊富な情報を提供しています。

林産品バイヤーの皆さまの意識は高まる一方です。カナダ林産業界は次の5大原則の遵守を誓っています。



カナダの林産業は今・2010年11月

林産品バイヤーの皆さまの意識はますます高まっています。カナダ林産業界は次の5大原則の遵守を誓っています。

1. 違法伐採に反対
2. 速やかな森林再生
3. リデュース/リカバリ/リサイクルの実践
4. CO2削減と温暖化の緩和
5. 第三者機関の厳しい目を歓迎